

安寿 あんじゅ

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

バスボード U-S/U-L 取扱説明書

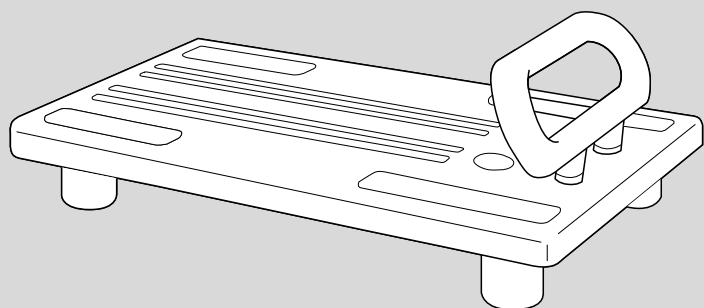
最大使用者体重：100kg以下

このたびはバスボード U-S/U-Lを
お求めいただきまして、まことに
ありがとうございます。

正しくお使いいただくため、
ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管
してください。

もくじ

安全上のご注意	1・2
取り付けの前に・各部のなまえ・特長	3
組み立てかた・取り付けかた	4
取り付けかた・使いかた	5
使いかた・お手入れの方法	6



安全上のご注意

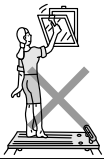
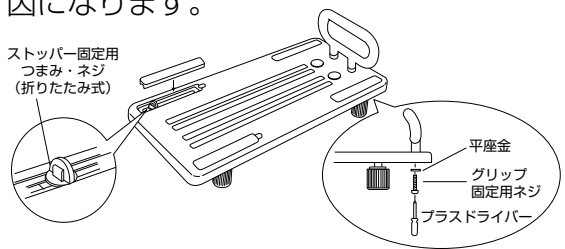
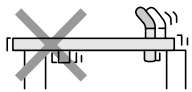
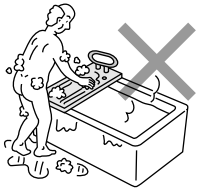
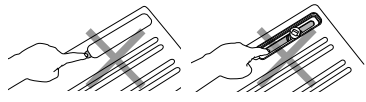


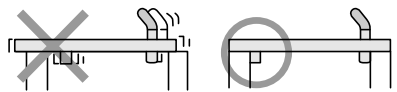
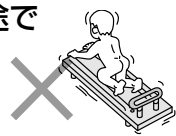
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。


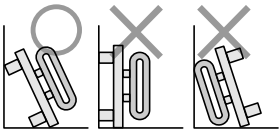

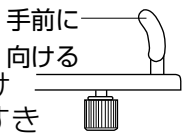
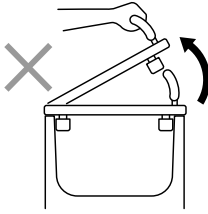

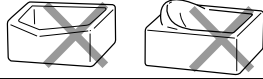


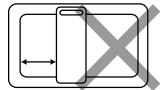
注意 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

! 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。 **⊘** **⊘** してはいけない「禁止」内容を説明しています。

警告	
<p>使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添うこと 転倒し、けがの原因になります。</p>	<p>バスボードを踏み台にしないこと 転倒し、けがの原因になります。</p> 
<p>ご使用前に必ずグリップ固定用ネジやストッパー固定用つまみ・ネジにゆるみがないことを確認すること ネジがゆるんでいると転倒し、けがの原因になります。</p> 	<p>浴室以外では使用しないこと けがの原因になります。</p>
<p>ご使用前に必ずバスボードにガタツキがないことを確認すること ガタツキがあると、体重をかけたときバスボードが動き転倒し、けがの原因になります。</p> 	<p>バスボードを落下などで変形、破損させた場合は使用しないこと 転倒し、けがの原因になります。</p>
<p>身体やバスボードにシャンプーや石けんがついたままのご使用は、滑りやすく危険なので、よく洗い流してから使用すること 転倒し、けがの原因になります。</p> 	<p>ストッパーの調節時以外に、カバー部の溝やストッパー調節溝に手指を入れないこと 指が抜けなくなり、けがの原因になります。</p> 
<p>●バスボードと浴槽の間に隙間をつくらないこと ●浴槽の中央付近への取り付けはしないこと 転倒し、けがの原因になります。</p> 	<p>本体とグリップのすき間に手指を入れないこと 指が抜けなくなり、けがの原因になります。</p> 
	<p>取り付ける時、ストッパーゴムと浴槽のふちとの間に隙間をつくらないこと 隙間があると、体重をかけた時にバスボードが動き転倒し、けがの原因になります。</p> 
	<p>子供を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと けがの原因になります。</p> 

⚠ 注意

	<p>改造や分解をしないこと 本品が正常にはたらかず、けがの原因になります。</p>	<p>バスボードが浴槽からはみ出る場合は、浅く腰掛けないこと バスボードが浴槽から外れ、転倒し、けがの原因になります。</p>
	<p>壁にたてかけたバスボードは倒れないよう注意すること 本体が破損する恐れがあります。</p>  <p>●滑りやすいので、全ての動作はゆっくりと行うこと ●浴槽内での動作はバスボードに体をひっかかないよう注意すること けがの原因になります。</p> 	<p>バスボードのグリップを洗い場側に向けて手すりとして使用しないこと バスボードが浴槽から外れ、転倒し、けがの原因になります。</p>
	<p>グリップは手前に向くように取り付けること グリップを逆向きに取り付けると、浴室壁とグリップのすき間に指が挟まり、けがの原因になります。</p> 	<p>バスボードを浴槽から取り外すときは、グリップを持って斜めに取り外さないこと ストッパーが破損する恐れがあります。</p> 
	<p>使用する前に脚ゴム、ストッパーゴム、カバー、キャップが確実に取り付けられていることを確認すること 確実に取り付けられていないと、けがの原因になります。</p>	<p>追い焚き付き給湯器や直焚き浴槽、お湯が循環している浴槽（24時間風呂）で使用する場合は、湯沸かしが完了してから設置すること プラスチックが変形又は破損し、転倒やけがの原因になります。</p>
	<p>バスボードは、こまめに清掃すること 本体やグリップ、ストッパーゴムなどにカビやぬめりが発生し、汚れが取れなくなったり、滑って転倒し、けがの原因になります。</p>	<p>バスボードでお湯をかきまぜたり、浴槽の中に入れて使用しないこと</p>  <p>風呂蓋の代わりにしたり、バランズがまの上に置かないこと プラスチックが変形、または破損し、けがの原因になります。</p> 
	<p>●ストッパーを浴槽のふちの上に乗せて使用しないこと ●ストッパーと浴槽のふちとの幅が合わない場合に、無理に押し込まないこと ストッパーが破損する恐れがあります。</p>  <p>●ふちが平らな浴槽に使用すること ●浴槽のふちが傾斜しているものには使用しないこと 取り付けが不安定になり、体重をかけた時にバスボードが動き転倒し、けがの原因になります。</p> 	<p>体重が100kgを超える方は使用しないこと 本体が破損する恐れがあります。</p> <p>●お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと ●塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。</p> 
		<p>直射日光に当てたり、戸外に放置しないこと 製品が劣化または破損し、けがの原因になります。</p>
	<p>浴槽の中央付近へ取り付けないこと 身体がすき間にはまり込み、けがの原因になります。</p> 	<p>熱湯をかけないこと 製品が変形し、けがの原因になります。</p> <p>火気に近づけないこと 製品が変形または破損する恐れがあります。</p>

ご注意

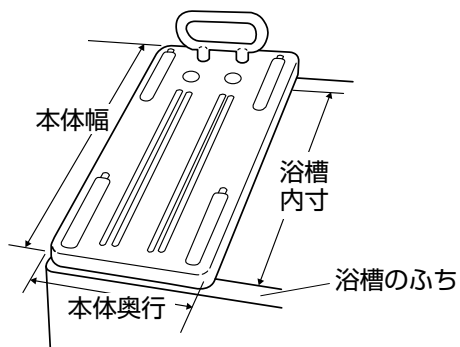
温泉や入浴剤入りのお湯が入った浴槽に設置されると、プラスチックの劣化や金属部の腐食が発生する恐れがありますのでご使用の際はご注意ください。

腐食が発生したら使用をお控えください。

取り付けの前に

●本体と浴槽のサイズを再度ご確認ください。

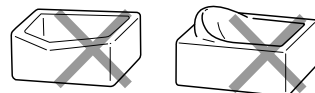
(単位：cm)



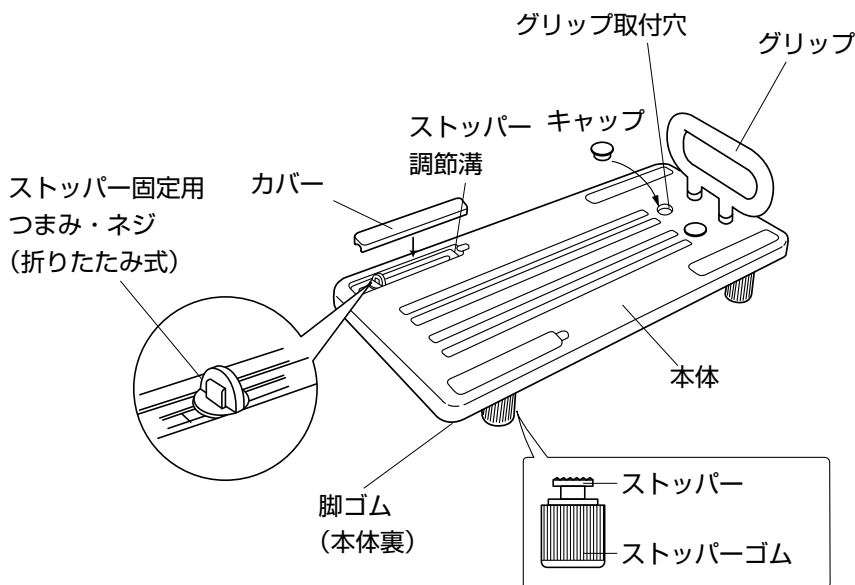
名称	本体サイズ		取り付け可能な浴槽のサイズ	⚠注意
	幅	奥行		
U-S	68	32	50～63以下	下記の浴槽には使用しないこと。 浴槽内寸が63cmを超える浴槽
U-L	73	32	55～68以下	浴槽内寸が68cmを超える浴槽

⚠注意

ふちが平らな浴槽に使用すること
浴槽のふちが傾斜しているものには使用しないこと
取り付けが不安定になり、体重をかけた時にバスボードが動き転倒し、けがの原因になります。



各部のなまえ

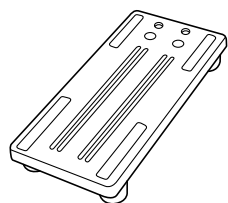


仕様

品名	バスボード U-S/U-L	
材質	本体・グリップ・ストッパー固定用ネジ	ポリプロピレン
	カバー	ポリエチレン
	脚ゴム・ストッパーゴム・グリップ被覆材	エラストマー
	キャップ	
	ストッパー・ストッパー固定用つまみ	ABS樹脂
	本体芯材	金属 (ステンレス鋼) ポリエステル塗装
サイズ	U-S : 68×32×高さ21cm U-L : 73×32×高さ21cm	本体厚さ 2.5cm
重量	U-S : 約3.4kg	U-L : 約3.6kg

部材・付属品

※開梱したら、まず部品と付属品の数を確認してください。



●本体一式
(本体・カバー・ストッパー・
ネジ・つまみ・脚ゴム)



●グリップ



●キャップ (2個)
(開封時は本体上面に
付いています)

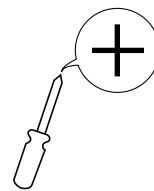


●グリップ固定用ネジ (2本)



●平座金 (2個)

※ご用意していただくもの
プラスドライバー

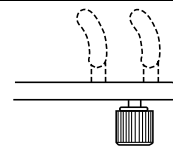


特長

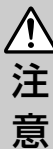
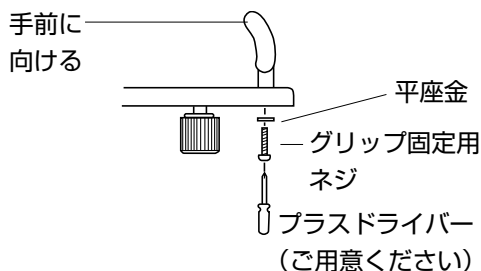
- 浴槽に取付けるストッパーは、本体上面から調節でき便利なおえ工具も不要です。
- ストッパー調節後は、カバーで溝をふさぎ安心です。
- グリップは、握りやすい太さで、また、持ち幅も広く、さらに腕に力の入れやすい高さです。
- 本体の厚さは、2.5cmと薄く、乗り移りのときの段差を少なくしています。
- グリップはソフトで握りやすい被覆をほどこしています。しかもからだに合わせて取付け位置が選べます。
- グリップの色は、湯気の中でも見やすい赤色を採用しています。
- 脚ゴムは、裏の四隅に付いており、滑りにくく安定した設置ができます。
また、壁にたてかけるときにも、滑り止め効果が得られます。

組み立てかた

●グリップを取り付ける。



- ①使う方の体形や症状に合わせてグリップの位置を決めます。
- ②お手持ちのプラスドライバーを使用し、グリップ固定用ネジ2本でグリップを確実に固定してください。



注意

- グリップ固定用ネジがゆるみなく固定されたか、確認すること
グリップ固定用ネジにゆるみがあると、グリップがガタついたり、外れたりする恐れがあります。
- グリップは手前に向くように取付けること
グリップを逆向きに取り付けると、浴室壁とグリップのすき間に指が挟まり、けがの原因になります。

- ③使わないグリップの取付け穴は、キャップでふさいでください。



注意

- 必ずキャップでふさぐこと
キャップをしないと、指が穴に入り、けがの原因になります。

取り付けかた

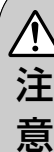
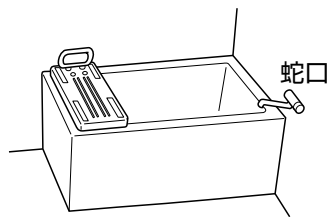


注意

取り付ける前に脚ゴムやストッパーゴムが確実に取り付けられていることを確認すること
確実に取り付けられていないと、体重をかけた時にバスボードが動き転倒し、けがの原因になります。

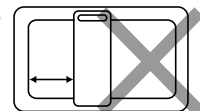
1 取り付け位置

取り付け位置は、原則として蛇口と反対の位置に、グリップを壁側に向けて取り付けてください。
また、できるだけ浴槽の端に寄せます。



注意

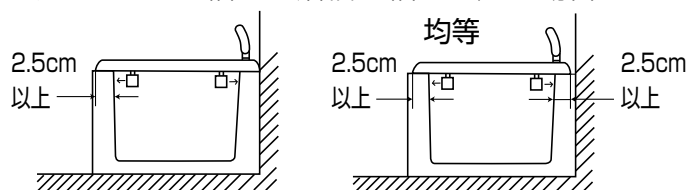
- 浴槽の中央付近への取り付けはしないこと
身体がすき間にはまり込み、けがの原因になります。
- バスボードのグリップを洗い場側に向け
手すりとして使用しないこと
バスボードが浴槽から外れ、転倒し、けがの原因になります。



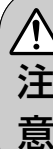
2 位置決め

位置決めは、下図のように行ってください。

- バスボード幅が、浴槽の幅より短い場合



- バスボード幅が、浴槽の幅より長い場合



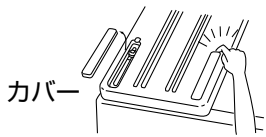
注意

バスボードが浴槽からはみ出る場合は、浅く腰掛けないこと
バスボードが浴槽から外れ、転倒し、けがの原因になります。

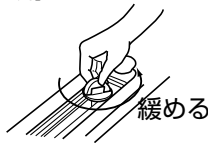
取り付けかた

3 ストッパーの調節 (4カ所)

①カバーを外します。
(指で開けられます。)

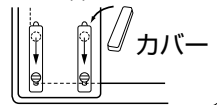


②ストッパー固定用つまみを立て、
ストッパー固定用ネジ
をゆるめます。



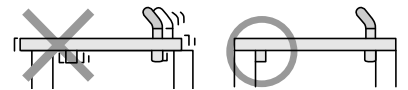
③ストッパー固定用つまみを移動させ、
ストッパーが浴槽壁に当たったところで止
め、ストッパー固定用ネジを締めます。

④調節後、カバーを
取り付けます。



警告 取り付ける時、ストッパーゴムと浴槽のふちとの間に隙間をつくらないこと

隙間があると、体重をかけた時にバスボードが動き転倒し、
けがの原因になります。



●ストッパーを浴槽のふちの上に乗せて使用しないこと

●ストッパーと浴槽のふちとの幅が合わない場合に、無理に押し込まないこと

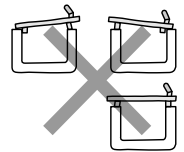
ストッパーが破損する恐れがあります。

●ストッパー固定用つまみ・ネジがゆるみなく固定されたか、確認すること

グリップ固定用ネジにゆるみがあると、グリップがガタついたり、外れたりする恐れがあります。

●必ずカバーを取り付けること

カバーを取り付けないと、指が穴に入り、けがの原因になります。



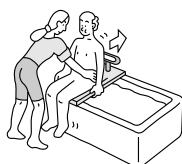
使いかた

●身体の安定が保てない場合は、介助者の付き添いが必要です。

●グリップやバスボード本体の取り付けにガタつきがないか確認してからご使用ください。

浴槽に入るとき (介助者がついている場合)

1 なるべく深く座らせます。



2 可能な場合はグリップにつか
まらせます。



3 身体の向きを変えながら、浴
槽の中に片方ずつ足を入れて
ください。



4 介助者は、介護される人のわきの
下から身体を抱きかかえなが
ら、空いている手でバスボード
を壁側にたてかけます。このと
き、滑らないよう脚ゴムのつい
ている方を壁に向けてくださ
い。(介護される人の手を首に
かけさせると楽です。)



※壁側にたてかけるだけの安
定したスペースのない場合
は、取り外してお使いくだ
さい。

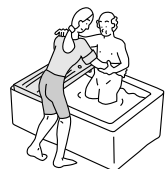


5 そのまま静かにお湯につから
せます。



浴槽から出るとき (介助者がついている場合)

1 両手で介護される人の
身体をしっかり支えながら、
立ち上がらせます。



2 なるべく深く座らせ、
身体の向きを変えながら足
を浴槽の中から外へ移させ
ます。



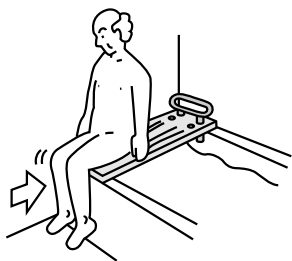
3 わきの下から身体を抱きか
かえて立ち上がらせます。



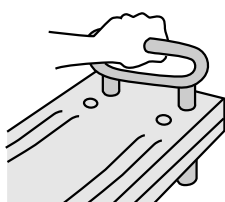
使いかた

浴槽に入るとき（ひとりの場合）

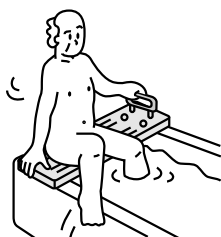
1 なるべく深く座ってください。



2 順手でグリップにつかまってください。



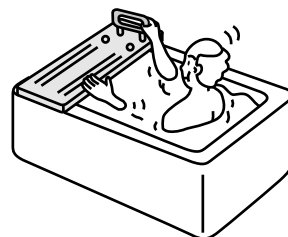
3 身体の向きを変えながら、浴槽の中に片方ずつ足を入れてください。



4 グリップにつかまったまま浴槽内で立ち上がり、身体の向きを180°回転させます。



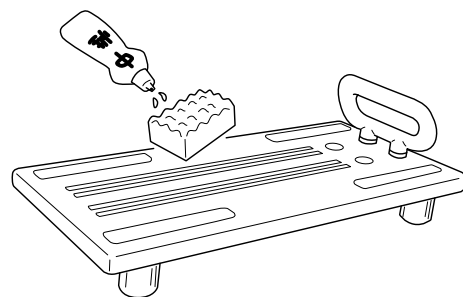
5 そのまま静かにつかります。



6 出るときは、入るときの逆の手順で行ってください。

お手入れの方法

●中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。



●脚ゴム・ストッパーゴムはお手入れのとき外せるようハメ込んであるだけです。ご使用になる前に、所定の場所へ取りついていることをご確認ください。

●グリップ・脚ゴム・ストッパーゴム・キャップ・ネジ類などは代用品を使用すると危険です。紛失したり、破損した場合は、新しい部品をお買い求めください。

⚠️ 注意

●バスボードは、こまめに清掃すること

本体やグリップ、ストッパーゴムなどにカビやぬめりが発生し、汚れが取れなくなったり、滑って転倒し、けがの原因になります。

●タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと

●塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと

プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

●直射日光に当てたり、戸外に放置しないこと

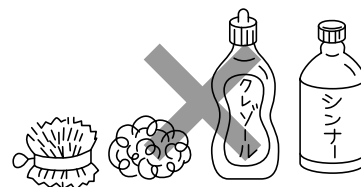
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

●熱湯をかけないこと

プラスチックが変形し、けがの原因になります。

●火気に近づけないこと

プラスチックが変形または破損する恐れがあります。



●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

12.03

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル ☎0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階 TEL (03) 3502-1448
FAX (03) 3502-1452

東京支店 ☎(03)3502-1422 仙台支店 ☎(022)291-5475
大阪支店 ☎(06)6448-5127 広島支店 ☎(082)245-7100
名古屋支店 ☎(052)203-0396 札幌営業所 ☎(011)709-6011
福岡支店 ☎(092)741-1411

910466-1